

高橋龜吉

たかはし
かみきち

経済評論家。

明治二十四年一月山口縣生れ、昭和五

十二年一月十日歿（八九一―一九七七）。大正五年早稻田大學商科卒。七年

東洋経済新報社入社、十五年退社して評論活動、昭和二年高橋経済研

究所設立、三十二年拓殖大學教授、四十九年文化功勞者。経済學博士。

著作「台冊を起さる。

著書「資本主義末期の研究」（昭和二年二月二十五日改造社）、「支

那經濟の崩壊と日本」（昭和十一年一月二十一日倉書房）、昭和研

究會「配給機構改革試案」（岩崎英彦編、五版・昭和十八年五月十日

生活社）、「日本經濟の再建」（昭和二十二年二月十五日日本經濟研

究所「日本經濟研究所研究叢書」（「經濟評論五十年―私の人生と

その背景」（昭和二十八年五月二十日投資経済社）、「昭和金融恐慌

史」（森垣淑共著、昭和四十二年十月一日清明会出版部「清明会新

書」）、「戦後日本經濟躍進の根本要因」（昭和五十年四月二十四日

本経済新聞社）、「私の実践経済学」（昭和五十二年一月十日東洋経

済新報社）等。



高橋龜吉 私の実践経済学

高橋龜吉著

経済診断の奥の手を公開！
「経済学」学者は多いが経済学者は少ない」とい
われる日本の風土の中で、80年にわたり日本経済
の診断と実証研究の第一線を歩んできた著者の初
めての経済指南書。

東洋経済新報社 ¥900

